

令和3年8月

大野市教育委員会定例会
会議録

日 時：令和3年8月30日（月）午後3時30分～午後5時00分
場 所：大野市役所 大会議室

大野市教育委員会 8 月定例会 次第

令和 3 年 8 月 3 0 日(月)午後 3 時 3 0 分～
大野市役所 大会議室

1 開会

会議録署名人 馬道委員 松谷委員

2 7 月定例会の会議録の承認について

3 教育長重要事項報告

4 議事

議案第 6 0 号 大野市保育所等業務効率化推進事業補助金交付要綱案について
議案第 6 1 号 令和 3 年 9 月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について

5 付議事項

1) 9 月の行事予定について

資料 1

・ 9 月定例教育委員会 9 月 2 7 日 (月) 午後 3 時 3 0 分～ 大会議室

6 その他

1) 大野市小中学校再編計画（案）説明会の開催結果について

資料 2

2) 令和 2 年度版「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の
実績について

資料 3

3) 令和 3 年度第 1 回子ども・子育て会議の概要について

資料 4

4) 大野市文化財保存活用地域計画策定の進捗状況について

資料 5

5) 大野市生涯学習推進計画の策定の進捗状況について

資料 6

6) 8 月の業務報告について

資料 7

7) その他

7 閉会

<出席者>

	教育長	久保俊岳
	委員（教育長職務代理者）	馬道保
	委員	松谷由美
	委員	松田輝治
	委員	羽生たまき
事務局（説明者）	事務局長	真田正幸
	教育総務課長	横田晃弘
	学校教育審議監	千田佐
	こども支援課長	加藤智恵
	生涯学習・文化財保護課長	佐々木伸治
（書記）	教育総務課企画主査	藤本久実子

<傍聴者>

2人

【開会】

【教育長】 ただいまから大野市教育委員会 8 月定例会を開会する。

【会議録署名人】

【教育長】 本日の会議録署名人は、馬道委員、松谷委員にお願いする。

【7 月定例教育委員会会議録の承認について】

【教育長】 事前にお送りした会議録案について、ご意見、ご質問等があればお願いする。

——<意見・質問なし>——

【教育長】 7 月定例会議事録については事務局からの提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】 事務局の提案どおり承認する。

【教育長重要事項報告】

【教育長】 先日、取材を受けた全国誌をお届けした。主に「大野型 18 年教育」が注目されたようである。子育てと教育を一括して所管する機構改革は、正に大野市の課題解決の方策であり、全国的にも懸案となっているものと考えている。また、学校再編や大野市教育理念を踏まえた教育についても大変興味を持って頂いた。

どの学校も大変頑張っており、確実に結果が出つつあると思っている。先般、教職員を対象に行った学校再編説明会の席上でも「自信をもって頑張りましょう」と呼びかけた。

さて、先般「子ども・子育て会議」に初めて出席した。「第 2 期大野市子ども・子育て支援事業計画」の基本施策に対する意見交換会を行った。今日の報告事項にも上げてあるが、大野市の子育て環境の整備の観点から、大変有意義な機会となった。また、「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の令和 2 年度の実績も本日報告をする予定である。

本日は、こども分野の視点から「こども支援課」の所管について述べた。よろしくお願ひしたい。

【議事】

【教育長】議案第60号 大野市保育所等業務効率化推進事業補助金交付要綱案について、事務局の説明をお願いします。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】議案第60号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第60号については、提案どおり承認する。

議案第61号 令和3年9月大野市議会定例会提出議案（補正予算案）について、事務局の説明をお願いします。

——<事務局長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松谷委員】有終西小学校併設の学びの里「めいりん」の施設で、先日、雨がひどく降った次の日に講堂を利用したが、館内のいたるところで雨漏りがひどい状態であった。学校の子どもたちが過ごすスペースには影響はなかったのか。

【生涯学習・文化財保護課長】学校の子どもたちが使用する場所での雨漏りは、主に廊下側で見られるような状況である。教室ではほとんど雨漏りは見られないが、教室の廊下側や体育館に向かう廊下では雨漏りが見られる。理由として、外壁に伝わった雨がジョイント部分から中に浸水していると考えられる。ただ、雨漏りする原因箇所が特定できないため、修繕を行うことが難しい状況である。また、学校の保健室でも雨漏りがあり、雨漏りする箇所にビニール製の筒を天井から吊るしバケツで水滴を受ける形で対応している。こちらについても、雨が漏れる原因箇所を特定できないため、状況を見ながら、随時、応急処置をしている状況である。

【羽生委員】私も日頃、学びの里「めいりん」の講堂を利用しているが、観客席横側の壁は触れると真っ白になるほどカビがひどい状態である。雨漏りもカビもあまり良い影響は与えない。その時に担当の方に伝えたが、一時的なことしかできない状態である、とのことであった。市内外から広く集う場所であり、一面にカビが生えているという状況自体は、見た目にも健康的にも害があると思う。雨漏りの話があったので、カビの件についても一つの情報としてお伝えする。検討いただきたい。

【生涯学習・文化財保護課長】情報提供いただいたカビについては、担当者と現場を確認し、何らかの方策がないか検討する。

【教育長】議案第61号について、事務局の提案どおり承認してよろしいか。

——<異議なし>——

【教育長】議案第61号については、提案どおり承認する。

【付議事項】

【教育長】付議事項1) 9月の行事予定について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】9月の行事予定については、以上とする。

【その他】

【教育長】大野市小中学校再編計画（案）説明会の開催結果について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【羽生委員】何度か拝見したユーチューブでも、資料に記載の意見が出ていた。教員の説明会は多くの参加者があったようであるが、資料の「4 説明会で出された主な意見等」には、教職員から出た意見等は含まれているのか。

【教育総務課長】「4 説明会で出された主な意見等」は保護者、住民対象の意見が主であり、教職員の意見は反映していない。

【羽生委員】個人的には、現場の先生方がどのような意見を持っているのか気になっている。今後、何かの形で意見等が公表されることはあるのか。

【学校教育審議監】教職員からは「再編に向けて教職員の数が減るのではないか」「教職員がしっかりと勤務できるような体制を整えて欲しい」という要望などがあつた。そして、陽明中学校や開成中学校、有終南小学校等の既存校舎を活用するということで、「子どもたちが快適に過ごせるよう修繕をお願いしたい」という要望もあつた。

【教育長】保護者や住民の方の意見とともに教職員の意見も、今後開催する検討委員会で報告し、きちんと反映していきたいと思う。教職員に最初にお願ひしたのは、教育関係者として、どのようなことが子どもたちや保護者・地域の皆さんに対してできるのか、あるいは、どのようなことをしなければいけないのか、について一緒に考えたいということである。報告があつた意見にプラスして、再編を経験してきた教職員からも多くの意見があり、その中から良い形を検討し、今後具体化していくこととなる。

【松谷委員】「4 説明会で出された主な意見等」では、部活動のことについての意見も多い。これは、子どもたちも保護者も、どのように子どもに部活動をさせていきたいかなどの心配が表れてることだと思う。部活動だけでなく勉強のことも同じであるが、再編をするから再編をした後に物事がこうですよ、という説明をされるより、2, 3年前から「このような計画で進めていきたい」という市が指し示す方向が見えている状態で、再編に向かっていく方が保護者と

しても安心して、その道にいけるのではないかと思う。なるべく前向きに、早めに、いろいろなことが決まってくると良いと思っている。

【教育長】この計画案を、なるべく早く計画にしていきたいと考える。計画案が決定となれば、今の小学校6年生は令和6年に中学校3年生になった時に再編となる。大きな動きとして皆さんにご理解はいただいているが、動かなければいけない学校の6年生も、受け入れる学校の6年生も、直接には大きな影響がない6年生もいるかと思うが、そのような子どもたちや保護者の方には個別にきちんと説明をして、将来のことを見据えて動けるようにと思っている。

続いて、令和2年度版「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の実績について、事務局の説明をお願いします。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】令和2年度版の実績であるが、令和3年度になりいろいろ実践できているものもある。ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】令和3年度に同じような事業を実施しているのかお聞きしたい。産後のママを応援の「家事援助・一時預かり」は今年度も継続しているのか。

【こども支援課長】今年度も同様に継続して実施している。

【松田委員】資料の特記事項欄に記載される「利用できる2事業所」はどこか。

【こども支援課長】家事援助で「大野市シルバー人材センター」、一時預かりでショッピングセンター内にある「ちくたつく」をお願いしている。

【松田委員】2事業所ともに5月まで実施していなかったのか。

【こども支援課長】2事業所はしばらく休止としていたため、その間はできなかった。

【松田委員】家庭に出向いての支援について「新規」と記載されているが、産後のママを応援だけでなく、継続的な事業で同じようなことを実施しているのではないか。

【こども支援課長】「すみずみ子育てサポート事業」などでは家事援助を実施しているが、産後のお母さんに限定しての事業は、令和2年度が初めてである。

【松田委員】了解した。奥越ふれあい公園の木製遊具が子どもたちの意見を聞いて良いものになったことは、子どもたちが本当に喜んでいる。コロナ禍で遊びに出かけることが難しいが、天気の良い時などに親が子どもを連れて行ける場所として、以前より遊具が充実したことが喜ばれている。道の駅荒島の郷のキッズコーナーでは、ハンモックが壊れて使用禁止となっていた。人気があるから壊れるということもあるが、直ぐに直していただくと良い。また、子どもを遊ばせる場所で保護者が入り切れるスペースがなく、小さな子どもを抱えている保護者がどこにいようと困っている様子があった。難しいかと思うが待機場所があればと思う。特に雨の日は唯一の救いの場所として、子どもを連れて多くの人がいるので、整備ができれば良いのではと思っている。

【教育長】何らかの形で伝えさせていただく。

【羽生委員】令和2年度はコロナ禍で運営や実績面では厳しいケースもあったかと思うが、「産後のママを応援」に注目している。相談会等でピンポイントに周

知したことが非常に功を奏しているのかと思う。令和3年度の新しいパッケージも広報で大きく取り上げていたことから、対象である若者世代の親世代が「市はこのようなことをやっているね」「これは伝えなくては」と思えるところにも網を張っていたと感じた。市民への施策のアプローチということと、若い人たちにも使えるツールとして周知することが上手にかみ合っていたのだと思う。

資料の意見にもあるが、これから大野で結婚し子どもを産もうと思う人にとっては、身近なかかりつけ医としての婦人科や小児科が少ないことや無いということは非常にネックであると思う。令和3年度の妊婦を登録制により救急車で搬送するなどの支援が拡充されていることなど、無いから仕方ないのではなく、逆転の発想で、無いからこそこのような手厚い助成やシステムがあり、支援施策を行っているという、事業の拡充とPRをしていくことで、少しでも多くの方が、コロナ禍でも安心して結婚出産できるようにしていただけたらとの期待がある。

【こども支援課長】周知することはどの事業においても悩みであり、産後ママについても今回は16人しか利用がなく、家事援助というと家の中に入るという点に抵抗があると思われる。今年度は利用する様子を動画に撮るなどして、家の周りの草取りや掃除などについても気軽に家事援助として利用しやすい制度であることを伝えていきたいと思っている。

【教育長】このような話し合いを教育委員会で出来ることは非常にありがたいと思っている。子どものみならず、保護者の方への安定した支援を通して、子育てが充実し、学校教育に繋がっていくという連鎖をしっかりと意識しながら進めていきたい。

続いて、令和3年度第1回子ども・子育て会議の概要について、事務局の説明をお願いします。

——<こども支援課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】資料の写真にあるように2グループに分かれて、活発な意見交換が行われた。私も初めて参加したが、本当にこれをしっかりと繋げていきたいと思っている。

続いて、大野市文化財保存活用地域計画策定の進捗状況について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習・文化財保護課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】非常に壮大な策定計画となっている。順調に進捗している。3年目の最終年度となってきており、随時報告していきたい。

続いて、大野市生涯学習推進計画の策定の進捗状況について、事務局の説明をお願いします。

——<生涯学習・文化財保護課長説明>——

【教育長】ご意見、ご質問等があればお願いします。

【松田委員】計画が策定された後は、市民にはどのように周知するのか。計画を全戸配布するのか、ダイジェスト版を配布するのか、公共施設に設置するのか。

【生涯学習・文化財保護課】市民への周知は、概要版を作成し本年度中に全戸配布する予定である。計画書においても委員からは、目につきやすいような形ということで、親しみやすい表紙にしてはどうかとの意見があった。また、概要版を小・中学生の児童生徒に配布すると保護者にも見てもらえるのではないかなど、委員からは周知することが大事であるとの意見があったため、広くPRしていきたいと考えている。

【松田委員】なるべくたくさんの方の市民の方に広く周知できるような方法をとっていただければありがたいと思う。

【教育長】続いて、8月の業務報告について、ご意見、ご質問等があればお願いします。

——<意見・質問なし>——

【教育長】8月の業務報告については、以上とする。

その他について、事務局から何かあればお願いします。

【学校教育審議監】今年度は隔年で実施している教育委員の学校訪問について、10月と11月に1日に3校程度で、すべての小中学校を訪問する予定であり、そのための日程調整をさせていただくのでお願いします。

【生涯学習・文化財保護課長】図書館の重油漏れについて、その後の対応と調査結果を報告する。昨年12月に判明した、図書館重油漏れの対応として、本年4月から5月にかけて図書館駐車場において土壌内の重油の有無を調査した。その結果「図書館の敷地内には、漏えいした重油で汚染された油汚染土壌は存在しないと考えられ、漏えいに対する浄化対策などの対応も必要としないと結論づけられる」との、調査結果が報告された。しかしながら、事故の重大性を鑑み、さらに追加で漏えいした機械室周辺の図書館西側と南西側の2地点で土壌内の重油の有無を調査した。7月に土壌のサンプル採取を行い、今月20日にその調査結果の報告があり、調査した2地点からはいずれも「油類は検出されず、図書館の敷地内では、漏えいした重油で汚染された油汚染土壌は存在しないと考えられる。また、漏えいに関する浄化対策なども必要ないと結論づけられる」とのことであった。昨年度実施した「事前土壌調査」では重油の漏えいは認められ、漏えい量は最大6キロリットルと推定されていたが、今回の調査結果として、漏えいした重油が地下に存在しない理由として「重油漏えいの覚知が早かったため、実際の漏えい量が想定された量よりもかなり少なかった可能性が高い。現状では、漏えい量を正確に把握することは不可能であるが、漏えい量自体が少なかったことで、油、汚染土壌が確認されなかった可能性がある」と報告された。この報告に基づき、図書館の重油漏えいによる土壌対策については、特段の対策は行わないこととしたいと考える。水質の影響については慎重に対応したいと考えており、継続して周辺家庭の水質検査を行っていききたいと考えている。

【事務局長】 今月 22 日に県が発表した、新型コロナウイルスの市内感染者に対する対応などについて報告する。県の発表では「10歳未満女性」となっていたが、市内の認定こども園に通う未就学児の女児であった。陽性が確認された経緯は 20 日金曜日に登園したところ、午後に発熱が確認されたことから、PCR 検査を受診し、21 日土曜日の朝に陽性が判明。同日午前中に保護者から園に連絡があり、当日の保育を中止し園から各保護者に連絡をした。午後にこども支援課に報告があり、各種対応に当たった。園では、同日午後に施設の消毒を実施するとともに、全職員 34 人が PCR 検査を受診し、20 日の午前中にその結果が判明し、34 人全員が陰性との報告を受けた。園児の PCR 検査については、0 歳から 2 歳児は不要とされたが、濃厚接触者に指定された 3 歳から 5 歳児 58 人は、22 日に PCR 検査を受けており、23 日の午前中に検査の結果が判明し、全員が陰性であった。園を 23 日から 29 日まで臨時休園とし、園児は自宅待機となった。PCR 検査を受けなかった、園児は本日から通常保育を行っている。

結果、全員が陰性であったが、PCR 検査を受けた園児はさらに 1 週間、合計 2 週間の自宅待機となっている。園児の中には、兄や姉などがいる家庭も多くあり、小・中学生や各家庭の拡大が懸念されたことから、23 日に予定されていた全小・中学校の学校活動を休止すると同時に、全小・中学校の保護者へ学校の連絡メールを使用し、陽性者が確認されたことや、学校活動の休止、児童館の臨時休館について連絡するとともに、市の公式ホームページや LINE を通じて周知を行った。

また、園児の兄姉などが児童館を利用していることも想定されるため、同じく 23 日は児童館を臨時休館とし、念のため消毒を行い、24 日から通常通り開館した。放課後こども教室については、関係する期間の実施がなく、また小・中学校含め、連絡体制の再確認を指示している。

本日から 2 学期が始まったが、児童生徒や子育て世帯の感染が拡大しないよう、感染症対策を徹底していきたい。また新型コロナウイルスで感染をした児童や生徒等に対する誹謗中傷、いじめ、差別を行わないよう、これまで以上に指導や啓発を行っていく。

県の緊急事態宣言の延長にあたって、9 月 12 日まで、学びの里「めいりん」の共用部分を含み、学校施設の一般利用を中止している。

【生涯学習・文化財保護課長】 県教育委員会から連絡があり、市指定文化財 1 件が県指定文化財となるよう、9 月 1 日の県の教育委員会に議案が提出されるとの連絡があった。承認されれば県報の告示は 9 月上旬の予定であるとのことであった。9 月の教育委員会で市指定文化財の解除について報告をする予定である。未定の話ではあるが、県教育委員会から連絡があったことを報告させていただく。

【教育長】 委員から何かあればお願いします。

【馬道委員】 令和 2 年度版「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の実績について説明があり、その中で昨年度の夏休みの居場所づくりについての実績報告

があったが、夏休みが始まる前に、各課それぞれが横の連携を取り作成した「なつやすみわくわくカレンダー」の実績について伺う。保護者や参加した子どもたちの声、参加人数と募集人数の比較や反響はどうであったかなど、それを受けて、カレンダーを作った有効性についてはどう思っているかという点について、後日に実績についてまとめることとは思うが、今わかる範囲で説明いただきたい。

【こども支援課長】こども支援課でカレンダーをまとめて配布したが、こども支援課独自の事業は今回のカレンダーにはないため、他課より報告があればお願いする。

【生涯学習・文化財保護課長】図書館では、夏休みの子ども宿題支援事業を実施した。コロナ禍のため人数制限を設けて実施したが、ほぼ定員いっぱいとなる人数に参加していただいた。図書館の中や結とびあいで実施し、各学年に応じた宿題支援を行い、子どもたちには人気であり、保護者の方にも好評であった。実際に現場も見えており、子どもたちは集中して夏休みの宿題に取り組んでいた。子どもたちにとっても良い事業であったと考えている。

また、夏休み期間中は企画展なども実施しており、特に和泉郷土資料館の企画展は化石ということで子どもに人気であったと考えている。コロナ禍ということで、県を跨いでの移動が憚れるなかでも入館者はいたが、昨年と比べると、入館者数は減っており、好評ではあったものの入館実績は少ない状況で推移している。

【教育総務課長】昨年度はコロナの影響で実施できなかったが、今年度は「夏休み子どもチャレンジ教室」を、7月26日から30日までの5日間、公民館5館を回って実施した。募集人員20名に対して申し込みは13名であった。

13人は仲良く一緒に過ごして、5年生の児童が違う学校の1年生の面倒を見て常に一緒にいるなど、学校や学年を超えて交流する姿を見ることができた。ALTも毎日参加し、様々なゲーム等で盛り上げ、地区の方に協力いただき地域の伝統文化等を学ぶなど、楽しく過ごしていただけたと思っている。

【事務局長】委員からお話のあったカレンダーの検証や評価であるが、教育委員会所管の事業については、当然に成果や効果について検証し改善する必要があるが、カレンダー自体は県の事業等も掲載されており、アナログなポータルサイトであると考えている。分かりやすい改善は行うが、カレンダーに掲載された事業の一つ一つがどうであったかの検証については、事務局として行う予定はない。

【教育長】委員においても周りの方から、カレンダーへの感想などを聞いた際にはお知らせいただきたい。

【羽生委員】コロナ対策について確認したい。これまでにないフェーズになってきており、教育の現場は難しい局面であると思っている。2学期は行事も多く、臨機応変に、都度都度の善処策が求められると思う。当市の教職員のワクチン接種率、また、ニュース報道があり、全国的に抗原抗体の検査キットが配布され、県内でも配布されており、保健室がとても物々しい雰囲気となっていた。

当市での体制は整っている状況であるのかお尋ねする。

【教育長】教職員ワクチン接種状況調査では、ワクチンを1回または2回接種済みの者が183名、未接種であるが予約済みの者が17名、接種予約をしていない者が5名、接種を希望しない者が6名で、接種の予約を含めると94%の教職員が対応済みである。

【事務局長】国では、簡易なものであるが抗原検査キットを配るという新聞報道があり、先週、急遽、学校や保育所、児童館向けの希望数の調査があった。学校の方は、抗原検査であるためPCR検査よりも精度は低いですが素早くその場で検査できるものである。小学校4年生以上の児童生徒が自分ですることとなっている。児童館や保育所は、子どもでなく、保育士などの職員の検査のためのキットとなっている。

全国で希望が殺到すると思われ、おそらく希望数どおりには配布されないと思われるが、早ければ学校では9月中旬ぐらいに届くと思われる。保育園についてはいつ頃に届くかという目途は立っていない。

【閉会】

【教育長】これをもって、大野市教育委員会8月定例会を閉会する。

午後5時00分終了

令和3年9月27日

(馬道委員)

(松谷委員)